

事業スクラップ研修

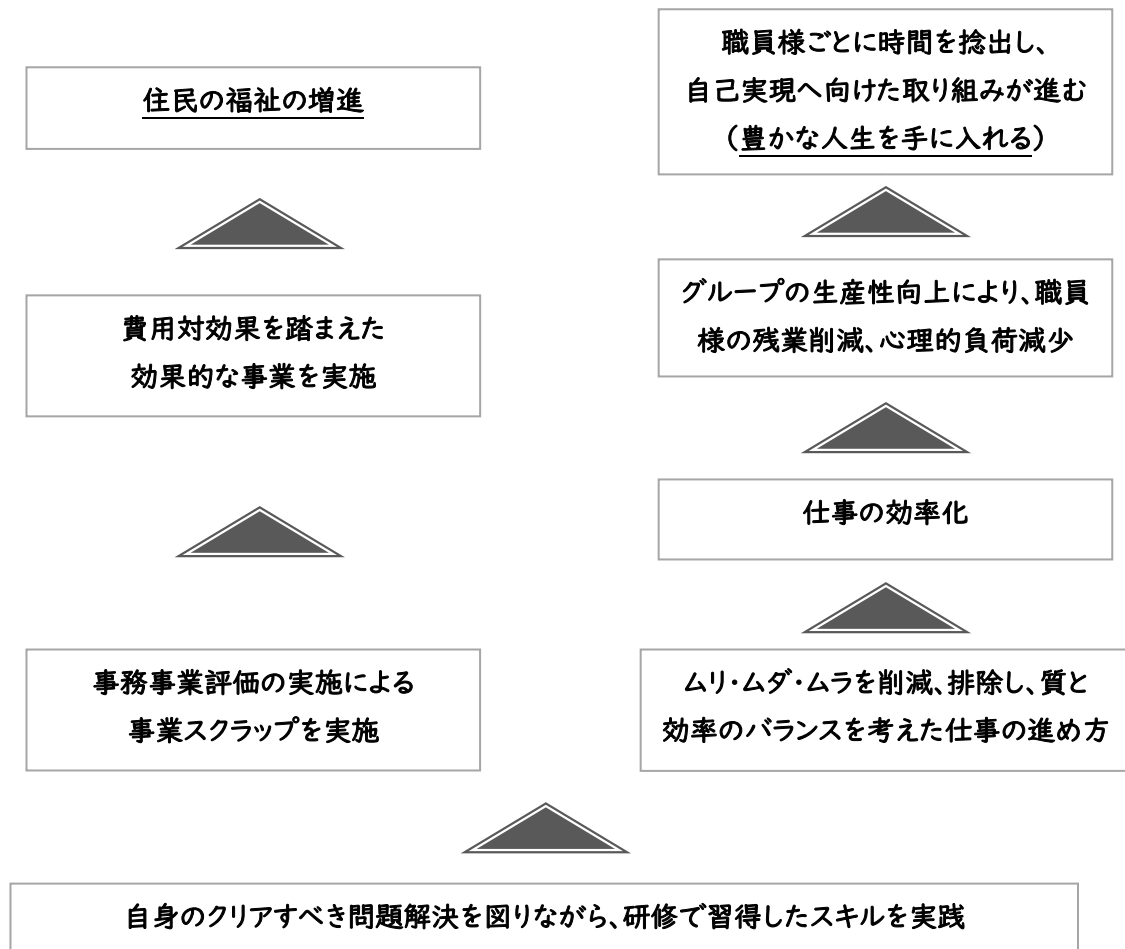
対象者: 中堅職員～管理・監督者

1. 研修の目的と全体像

管理者および事業推進者に期待される役割と資源の再配分・有効活用のために事業の廃止や見直しの手法を学ぶ

2. 研修の構成

【研修終了後イメージ】



【研修内イメージ】

座学&個人ワーク



下記ワークであぶり出した問題意識への解決策と各テーマに必要なノウハウを体系的に学んでいただきます。

問題意識の明確化
(グループワーク)



『事業スクラップ』を進めていくうえで、各人が抱く問題を明確にします。問題意識を具体的に持って頂くことで、研修で解決すべき要素が明確になるので、参加意識が向上し、研修効果が最大化されます。

2. 研修内容

PW=個人ワーク GW=グループワーク

	内容	詳細、得たい成果
9:00	I. 研修の目的と全体像 II. 事業スクラップの目的 III. 問題意識の具現化 (GW) 1. テーマ 事業スクラップの実行にはどのような壁があるか 2. 進め方 (1) 個人で考える (2) グループワーク (3) 発表 IV. 事業スクラップが求められる背景 1. 厳しい財政運営における必然 2. 職員の疲弊 V. これからの地方自治体に必要な取り組み 1. 最小のコストで最大の効果という考え方をシフトさせる 2. 最小のコストで期待される効果を出す VI. 生産性向上 1. 生産性とは何か 2. 成果と効果の違い VII. 他自治体における事例紹介 (座学) VIII. 事業スクラップにおける4つの阻害要因 (座学) 第1の視点 100%ムダ以外は必要とする考え方 第2の視点 次年度予算を確保するための動きがある 第3の視点 提案側のモチベーション低下 第4の視点 事業評価に必要な知識技術不足 IX. 事業スクラップの実施方法 (1) 行政事業の洗い出し (2) 事業評価項目の決定 (3) 事業評価項目に基づいた評価実施 —判断基準の見える化— ① 一次評価 (内部評価) ② 2次評価 (外部評価) ③ 総合評価 (内部評価) (4) 評価完了後のイメージ ① 評価概要一覧 ② 事務事業評価シート (5) スケジューリング例 (6) 考慮すべき評価エラー	● 研修への問題意識を具体的に持って頂くために左記テーマにてグループワークを実施します。 ● 事業スクラップが必要とされる背景、キーワードとなる生産性向上の正しい意味の理解など、必要な知識を確認していきます。 ● 事業スクラップについて、その必要性を認識したうえで、具体的な実践方法を学びます。評価完了後のイメージとして、①評価概要一覧、②事務事業評価シートの2シートのサンプルをご確認頂きます。 最終イメージを具体的に見て頂くことで、そのプロセスにおいてもより一層明確にイメージして頂けると考えます。最後に、各受講者様にて、関係する事業の1次評価をシミュレーションして頂き、より習得度の向上を図ります。
16:30	(7) 1次評価シミュレーション (PW)	